

NPO法人古賀志山を守ろう会活動記録

| | | | | | |
|------|-------------------|-------|-------------|-------|-------|
| 活動日 | 令和5年10月26(金) 定例会 | 活動場所 | 福岡町北コース富士見沢 | | |
| 活動内容 | 檜丸太材の荷揚げ搬入及び防腐剤塗布 | | | | |
| 参加者 | 奈良 忠男 | 三輪 健治 | 下田 克明 | 大出 忠 | 増田 弘文 |
| | 小沢 寿雄 | 長嶋 幸雄 | 藤沼 力 | 村田 鉄三 | 佐野 久雄 |
| | 池田 正夫 | | | | |

生木で重い檜丸太材を運び揚げる作業には労力を要する。各自がスリングを肩に途中で何回も休憩を取りながら林道をゆっくりと進む。

二本の檜材の表皮を剥ぐ作業は事前に三輪健治・村田鉄三両氏が行っていたので今回は現場まで運び揚げる作業である。



運び揚げる作業も難所があり。橋を渡り階段を上がる荷揚げ作業は避けて川底から持ち上げることにした。全員が足場を確保しながら慎重にゆっくりと進む。二本目の檜丸太材を運び揚げるためには往復二回の労力と時間を要した。全員が怪我もなく運び上げた労力に対し「ご苦労さん、お疲れ様でした」と拍手を送りたい。

運び揚げる作業後は檜丸太材の防腐剤塗布作業に取り掛かる。塗布は二度塗りするため作業には手間が懸る。この作業は檜丸太材の腐食を防ぐための不可欠な事前の作業である。丸太橋を架ける作業は一つ一つの段階を踏んで着々と現在進行形である。

